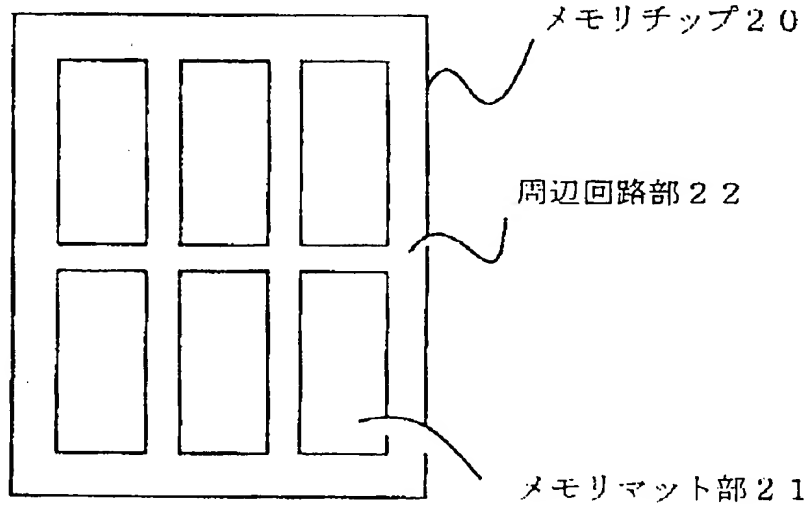


【図15】

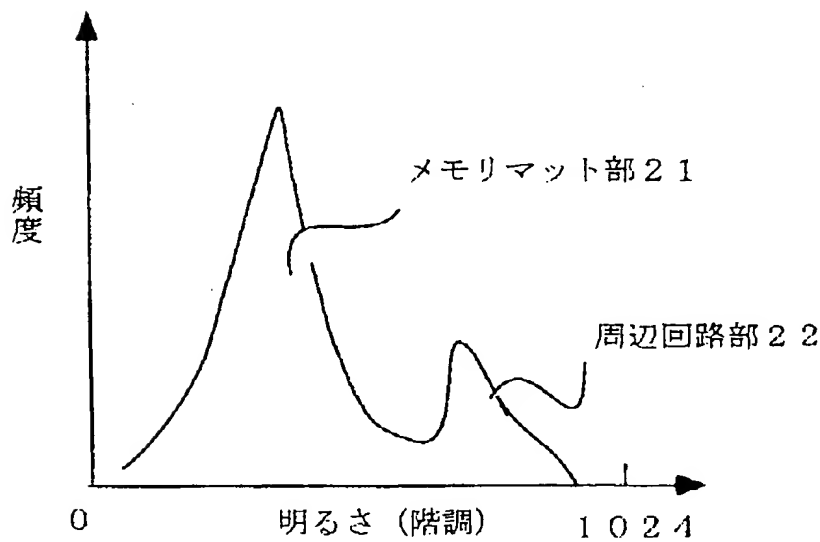
E4582-01/EN

Fig. 1
~~図 15~~



【図16】

Fig. 2
~~図 16~~

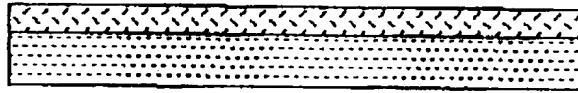


660240" 2E746260

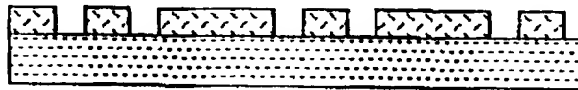
【図17】

Fig. 3
~~図17~~

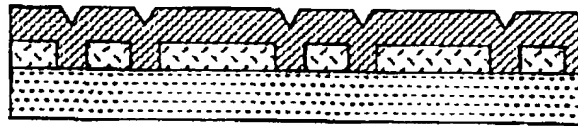
絶縁層
デポジション



絶縁層
パターニング



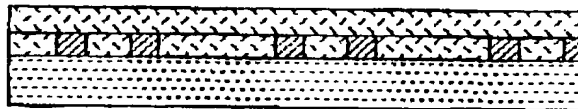
配線層
デポジション



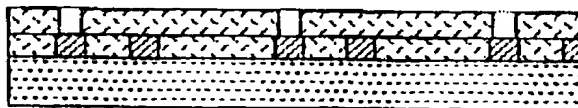
CMP



絶縁層
デポジション



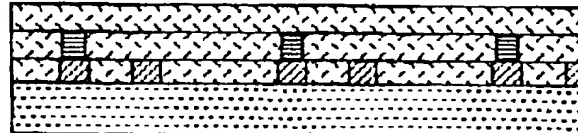
スルーホール
形成



スルーホール
充填



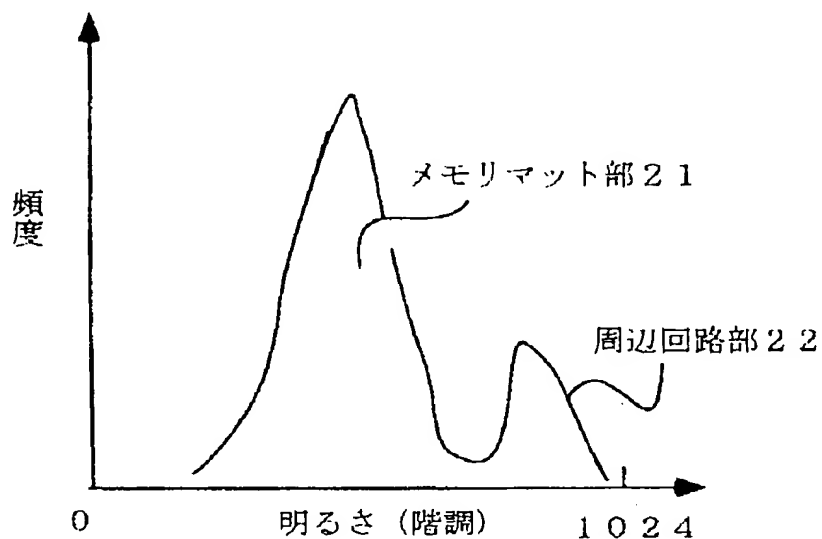
絶縁層
デポジション



09294137.042099

【図18】

Fig. 4
~~図 18~~



09294137 042099 660240 2ET6260

~~(2-1)~~

Fig. 5
~~(2-1)~~

	-1	0	1
-1	$8.28 \times 10''$	$1.56 \times 10''$	$9.07 \times 10''$
0	$8.55 \times 10''$	0	$8.59 \times 10''$
1	$9.0 \times 10''$	$1.35 \times 10''$	$8.33 \times 10''$

~~(2-2)~~

Fig. 6
~~(2-2)~~

	-1	0	1
-1	967323	742941	951727
0	953922	732608	939418
1	950797	728323	937704

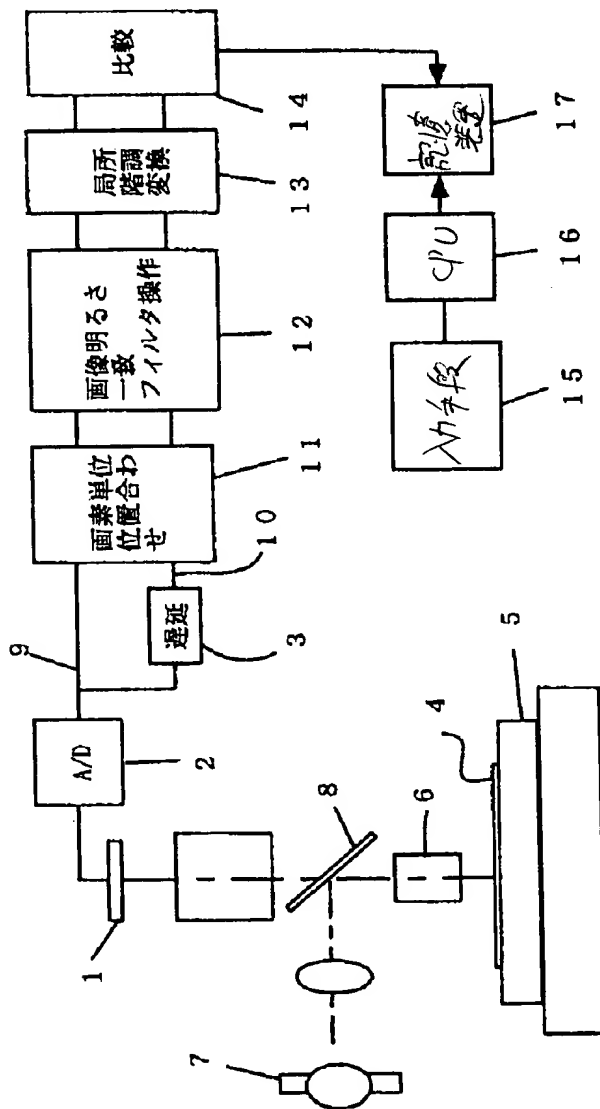
660240" ZET40260

ファイル名 = D97010911A1.e1

【書類名】 図面

【図1】

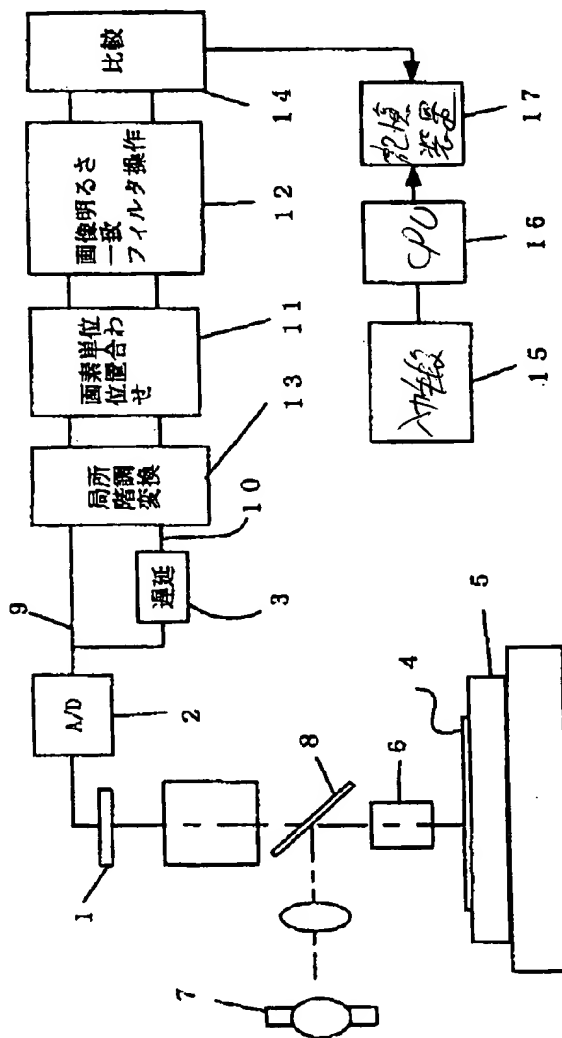
Fig. 1



ファイル名 = D97010911A1.et

【図2】

Fig. 8
2



ファイル名 = D97010911A1.e1

【図3】

Fig. 9
図3

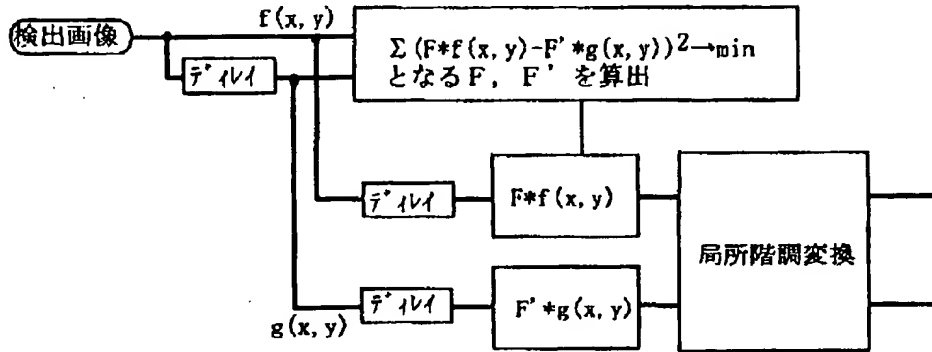


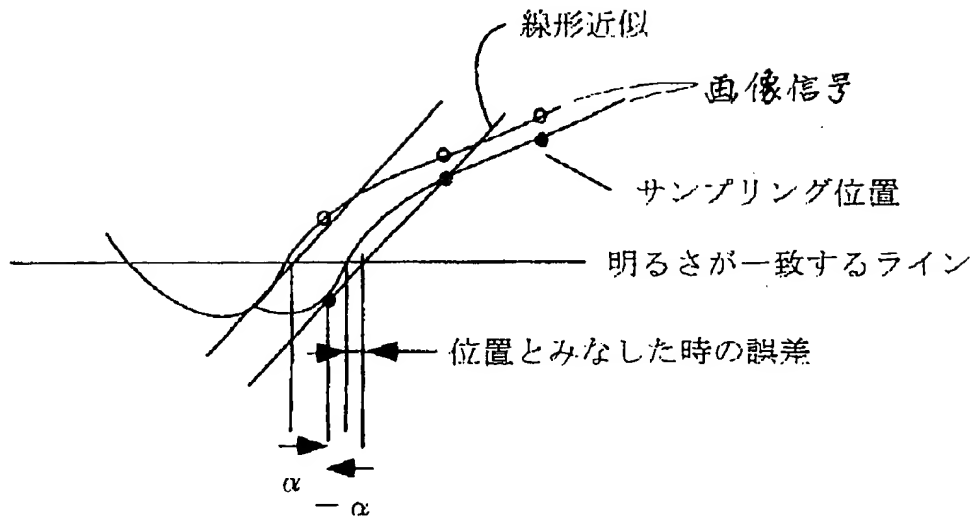
Fig. 10
図5

$$F = \begin{bmatrix} 1 - \alpha - \beta & \alpha \\ \beta & 0 \end{bmatrix}$$

$$F' = \begin{bmatrix} 0 & \beta \\ \alpha & 1 - \alpha - \beta \end{bmatrix}$$

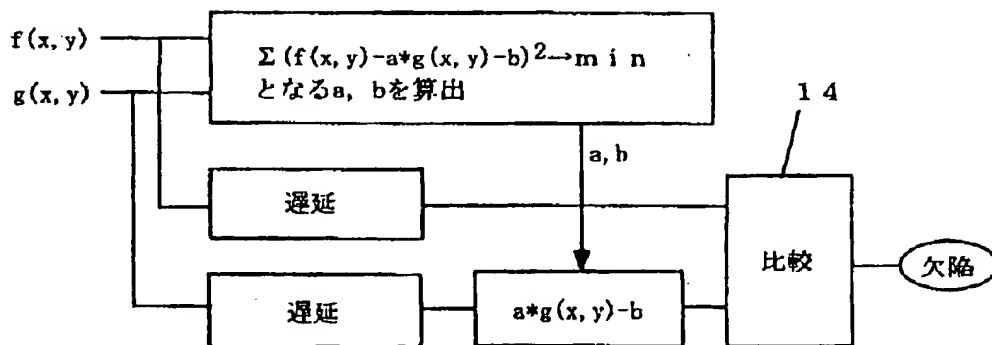
660240" ZET46260

Fig. 11
~~図 14~~



〔図 4〕

Fig. 12
~~図 4~~



本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

図13 Fig. 13

$f(x,y)$

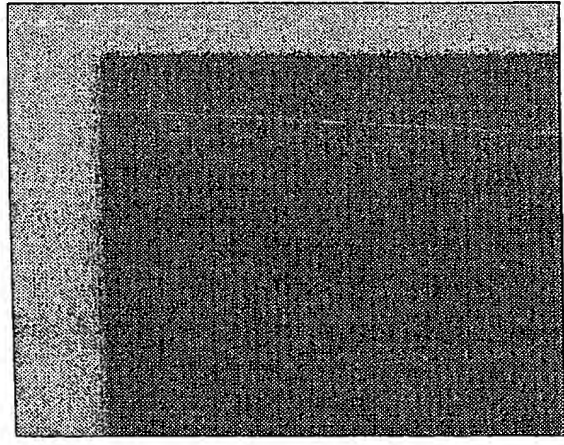


Fig. 13A

$g(x,y)$

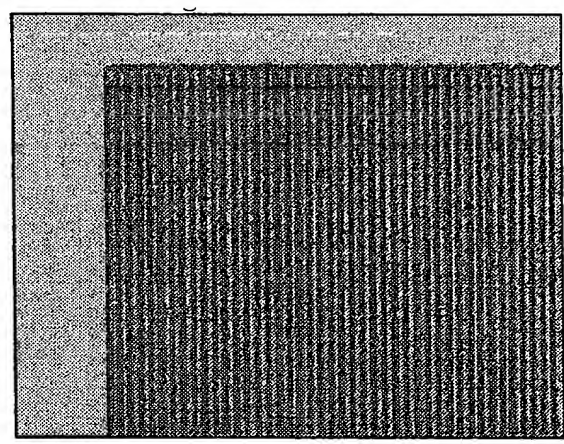


Fig. 13B

$|f(x,y) - g(x,y)|$

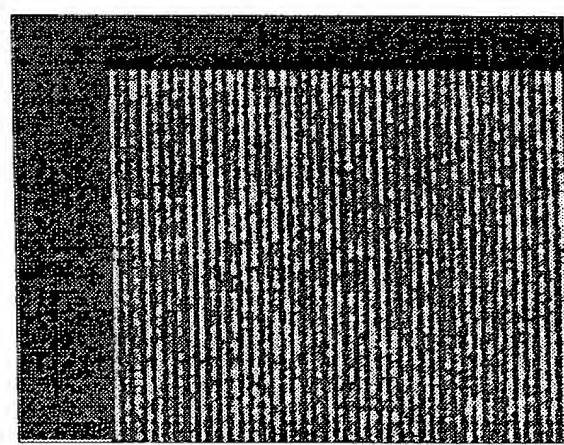


Fig. 13C

差画像

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表すように図面を作成する。
2. 本図面に記載する図表の大きさは、横148mm、縦30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。
3. 中点投写方式で図面を作成する。
4. 図表の中心は、図面の中心と一致させる。
5. 図表の描画は、図表の中心を基準として行う。
6. 図表の描画は、図表の中心を基準として行う。
7. 図表の描画は、図表の中心を基準として行う。
8. 図表の描画は、図表の中心を基準として行う。
9. 図表の描画は、図表の中心を基準として行う。
10. 図表の描画は、図表の中心を基準として行う。

09094137.042099

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

<表の例>

表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

<数式の例>

$$|i_1| = \frac{Edc}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数 1})$$

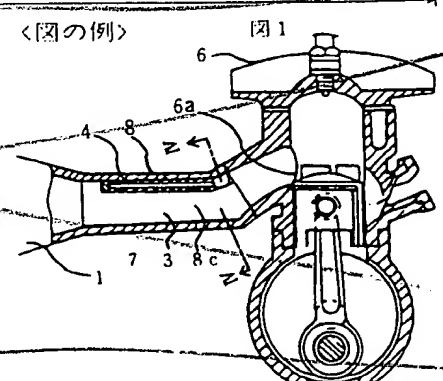
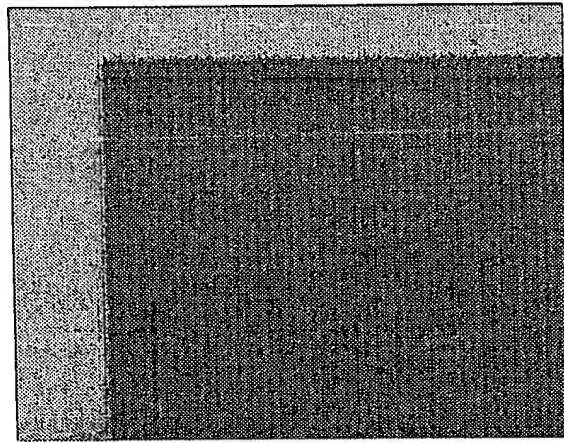
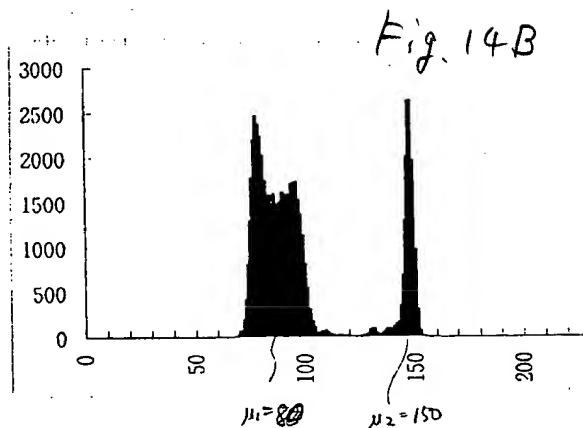


図 1

- 5.....排気装置
- 6.....2 サイクルエンジン
- 6a.....排気孔
- 7.....排気管
- 8.....共振管
- 8c.....共振室

※本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成士の注意を厳守して作成する。

7 6(a) Fig. 14A


$$g(x, y)$$


8(2.5)の明細をヒスレグする

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表わす図を図1とする。
2. 各図に、
（a）1個の図
1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42、43、44、45、46、47、48、49、50、51、52、53、54、55、56、57、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86、87、88、89、90、91、92、93、94、95、96、97、98、99、100、101、102、103、104、105、106、107、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、118、119、120、121、122、123、124、125、126、127、128、129、130、131、132、133、134、135、136、137、138、139、140、141、142、143、144、145、146、147、148、149、150、151、152、153、154、155、156、157、158、159、160、161、162、163、164、165、166、167、168、169、170、171、172、173、174、175、176、177、178、179、180、181、182、183、184、185、186、187、188、189、190、191、192、193、194、195、196、197、198、199、200、201、202、203、204、205、206、207、208、209、210、211、212、213、214、215、216、217、218、219、220、221、222、223、224、225、226、227、228、229、230、231、232、233、234、235、236、237、238、239、240、241、242、243、244、245、246、247、248、249、250、251、252、253、254、255、256、257、258、259、260、261、262、263、264、265、266、267、268、269、270、271、272、273、274、275、276、277、278、279、280、281、282、283、284、285、286、287、288、289、290、291、292、293、294、295、296、297、298、299、300、301、302、303、304、305、306、307、308、309、310、311、312、313、314、315、316、317、318、319、320、321、322、323、324、325、326、327、328、329、330、331、332、333、334、335、336、337、338、339、340、341、342、343、344、345、346、347、348、349、350、351、352、353、354、355、356、357、358、359、360、361、362、363、364、365、366、367、368、369、370、371、372、373、374、375、376、377、378、379、380、381、382、383、384、385、386、387、388、389、390、391、392、393、394、395、396、397、398、399、400、401、402、403、404、405、406、407、408、409、410、411、412、413、414、415、416、417、418、419、420、421、422、423、424、425、426、427、428、429、430、431、432、433、434、435、436、437、438、439、440、441、442、443、444、445、446、447、448、449、450、451、452、453、454、455、456、457、458、459、460、461、462、463、464、465、466、467、468、469、470、471、472、473、474、475、476、477、478、479、480、481、482、483、484、485、486、487、488、489、490、491、492、493、494、495、496、497、498、499、500、501、502、503、504、505、506、507、508、509、510、511、512、513、514、515、516、517、518、519、520、521、522、523、524、525、526、527、528、529、530、531、532、533、534、535、536、537、538、539、540、541、542、543、544、545、546、547、548、549、550、551、552、553、554、555、556、557、558、559、560、561、562、563、564、565、566、567、568、569、570、571、572、573、574、575、576、577、578、579、580、581、582、583、584、585、586、587、588、589、590、591、592、593、594、595、596、597、598、599、600、601、602、603、604、605、606、607、608、609、610、611、612、613、614、615、616、617、618、619、620、621、622、623、624、625、626、627、628、629、630、631、632、633、634、635、636、637、638、639、640、641、642、643、644、645、646、647、648、649、650、651、652、653、654、655、656、657、658、659、660、661、662、663、664、665、666、667、668、669、670、671、672、673、674、675、676、677、678、679、680、681、682、683、684、685、686、687、688、689、690、691、692、693、694、695、696、697、698、699、700、701、702、703、704、705、706、707、708、709、710、711、712、713、714、715、716、717、718、719、720、721、722、723、724、725、726、727、728、729、730、731、732、733、734、735、736、737、738、739、740、741、742、743、744、745、746、747、748、749、750、751、752、753、754、755、756、757、758、759、760、761、762、763、764、765、766、767、768、769、770、771、772、773、774、775、776、777、778、779、780、781、782、783、784、785、786、787、788、789、790、791、792、793、794、795、796、797、798、799、800、801、802、803、804、805、806、807、808、809、810、811、812、813、814、815、816、817、818、819、820、821、822、823、824、825、826、827、828、829、830、831、832、833、834、835、836、837、838、839、840、841、842、843、844、845、846、847、848、849、850、851、852、853、854、855、856、857、858、859、860、861、862、863、864、865、866、867、868、869、870、871、872、873、874、875、876、877、878、879、880、881、882、883、884、885、886、887、888、889、890、891、892、893、894、895、896、897、898、899、900、901、902、903、904、905、906、907、908、909、910、911、912、913、914、915、916、917、918、919、920、921、922、923、924、925、926、927、928、929、930、931、932、933、934、935、936、937、938、939、940、941、942、943、944、945、946、947、948、949、950、951、952、953、954、955、956、957、958、959、960、961、962、963、964、965、966、967、968、969、970、971、972、973、974、975、976、977、978、979、980、981、982、983、984、985、986、987、988、989、990、991、992、993、994、995、996、997、998、999、1000、1001、1002、1003、1004、1005、1006、1007、1008、1009、1010、1011、1012、1013、1014、1015、1016、1017、1018、1019、1020、1021、1022、1023、1024、1025、1026、1027、1028、1029、1030、

SECRET

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
○図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。
○G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
○表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

〈図の例〉

图 1

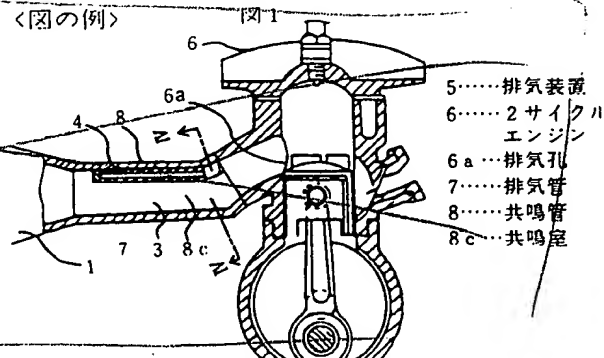
〈表の例〉

表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

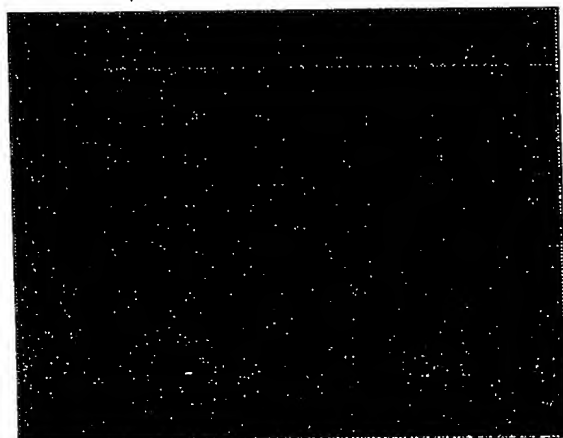
〈数式の例〉

$$|i_1| = \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数} 1)$$



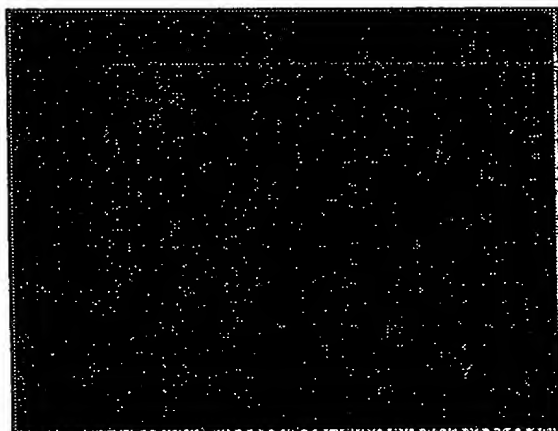
~~本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。~~

Fig. 17A
~~图 7(a)~~



差画像 1 (3 × 3)

Fig. 17B



差画像 2 (5 × 5)

作成上の注意

1. 発明の特徴を
最も良く表わ
す図を国1と
する。
2. 各国に別付
け、国1と同一
の図に連続番号
を付け、番号
順に配置する。
3. 中心部に記入
しない。
4. 1段に1つとし、
列数がある
ときは、横上
下方向に並
ぶこと。
5. 図面は、方眼
紙の枠外には
み出さないよ
うにし、定規、
コンパスを用
いて明確に書
く。
6. 番号、図名、
寸数、単位、
出所を別に
記述する。
7. 図名は、横に
記述し、1つ
の図号に1つ
の図名を記す
こととする。
8. 同一部分の寸
法に寸法線、
寸法線、同一
の寸法を各国
に付ける。
9. 断面を示す部
分には、ハッ
チングを施す。
塗りつぶして
はならない。

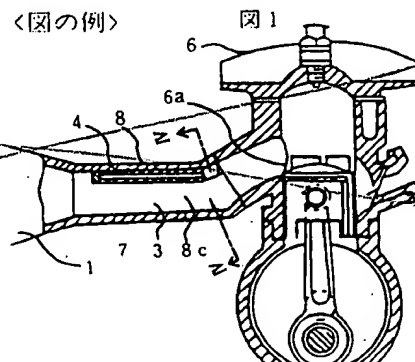
- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

○図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。

○C3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。

○表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

＜図の例＞



5.....排気装置
6.....2サイクル
エンジン
6a...排気孔
7.....排気管
8.....共鳴管
8c...共鳴室

〈表の例〉

	条件 1	条件 2
回路 1	1.5	2.3
回路 2	1.2	1.9
回路 3	1.8	2.4

〈数式の例〉

$$|I_1| = \frac{eI_0}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数} 1)$$

090319Z JUL 70

1 発明の特徴を最も良く表す図を附図とする。

各国ごとに、
国内上欄の国
、国にのみ
の通称番号
を付し、番号
順に配列する。

10/1/2012

1. 1921年10月1日
中国成立之初
为纪念孙中山
先生而设
为纪念孙中山

3. 図面は、原則
 として、縦向きに
 描き、横書きに
 する。ただし、定規
 コンパスを用
 い、明確に書
 く。

1. 凡在本行開辦之各項業務，
 2. 均應遵守本行所定之各項規章，
 3. 並應隨時注意本行所定之各項規章，
 4. 如有違反者，本行將依法究辦。

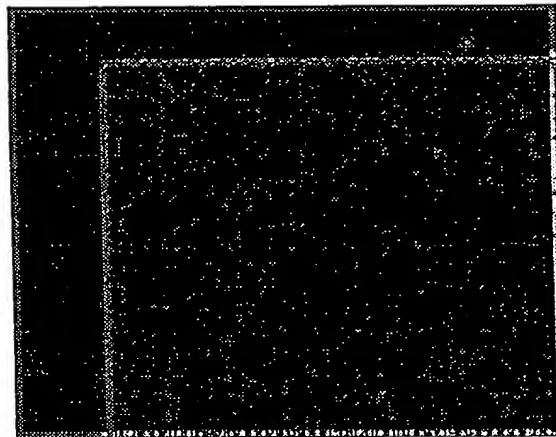
7. 1944年11月1日
同日
1944年11月1日
同日
1944年11月1日
同日

8. 同一部分第2
段上句(4)句,
2句(1、6)
句号在句(4)
句(1)后。

9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

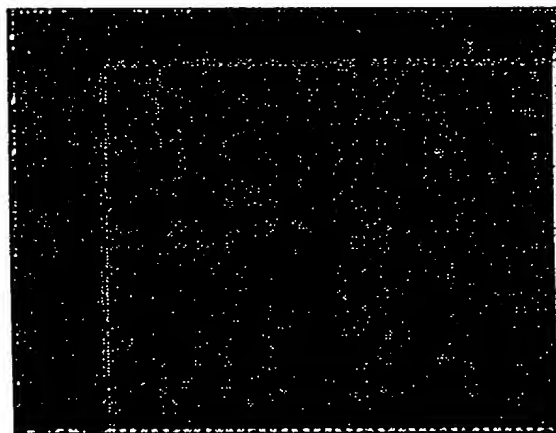
Fig. 18A

~~Fig. 18B~~



差画像 3 (7 × 7)

Fig. 18B



差画譜 4 (7×7, 重画付)

- 〈図の例〉

〈表の例〉

表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

＜数式の例＞

$$|1 + \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}}| \dots (\text{数} 1)$$

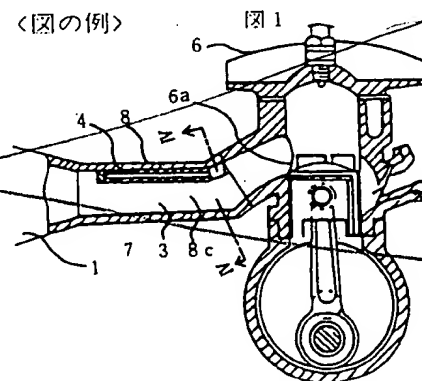


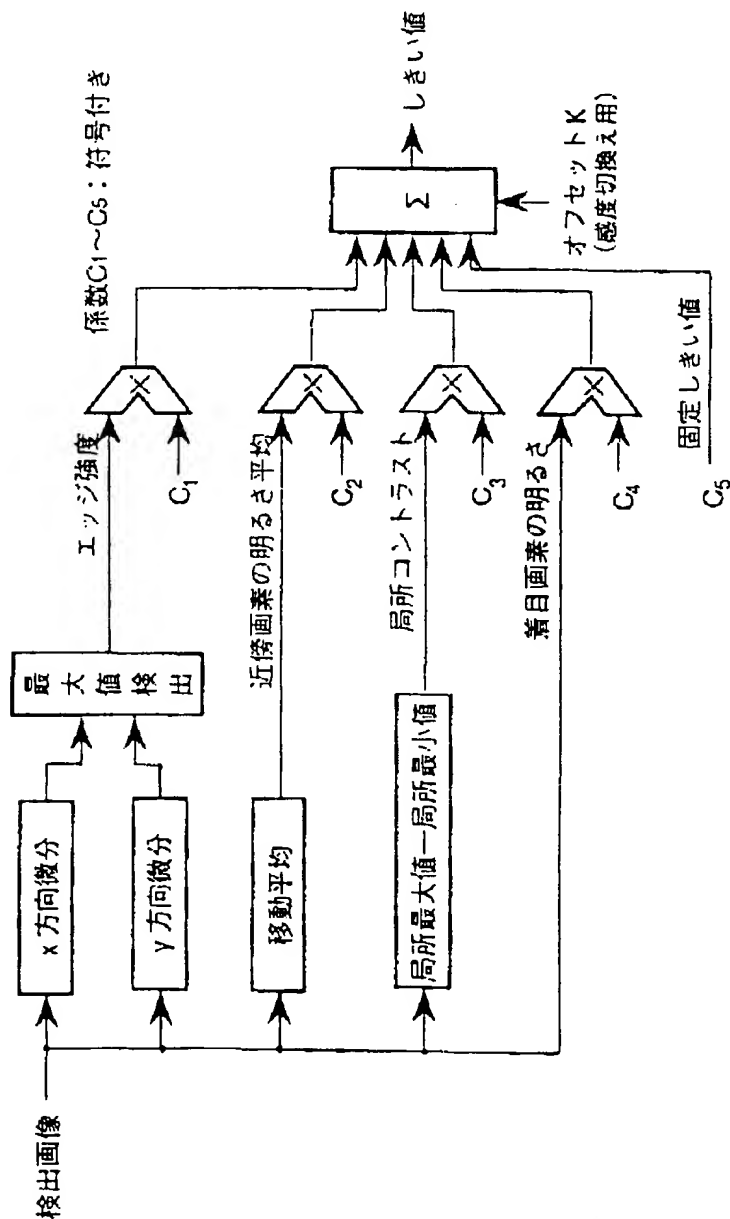
图 1

- 5.....排気装置
6.....2サイクル
エンジン
6a...排気孔
7.....排気管
8.....共鳴管
8c...共鳴室

ファイル名 = D97010911A1.e1

〔図 12〕

Fig. 19
~~図 12~~

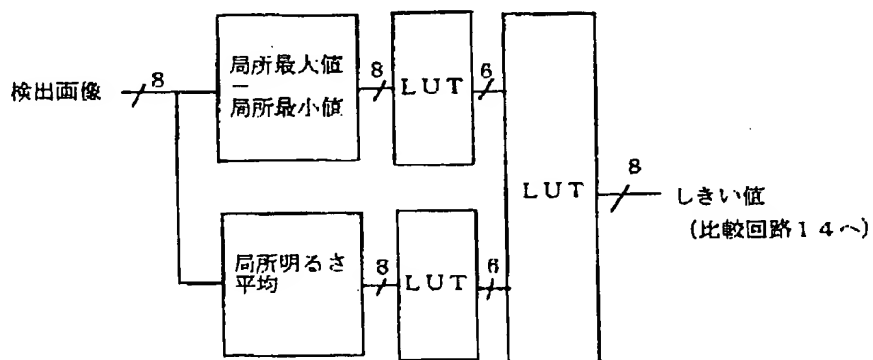


ファイル名 = D97010011A1.et

~~【図13】~~

Fig. 20

~~図 13~~



660240" ZET46260

本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

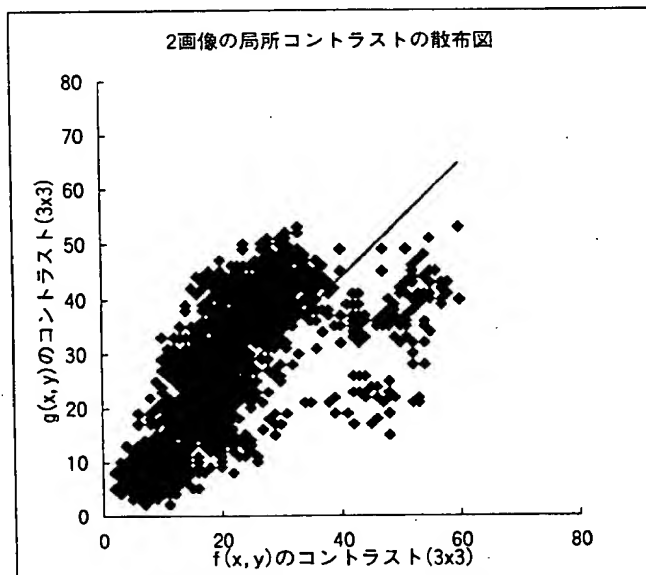
Fig. 21

23 (a)

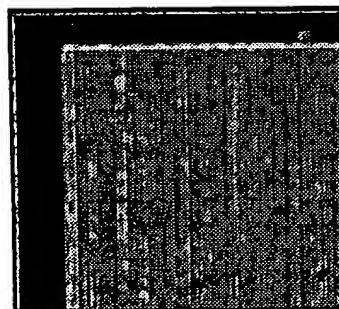
1) 画素単位的位置あわせ後

傾き	切片
1.038	2.336

Vr= 125.774
Ve= 59.653



Veの値



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表わす図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のようにつけて連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚に2つ以上の図があるときは必ず上下方向に並べる。
5. 図面上、方眼紙の枠外には、みだしをいれ、うしろ、定規、コンパスを用いて明確に書く。
6. 符号(アラビア数字)を引出線を引いて記入する。
7. 符号はすべて同じでない。また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上2図にあらわれる時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

〈表の例〉

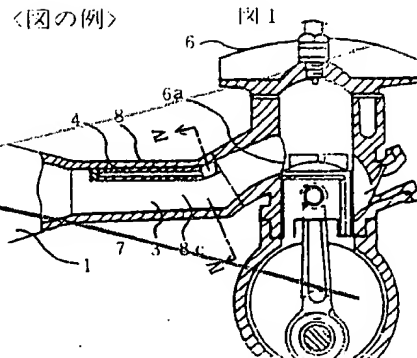
表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

〈数式の例〉

$$|I_1| = \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (数 1)$$

〈図の例〉



- 5.....排気装置
- 6.....2サイクルエンジン
- 6a...排気孔
- 7.....排気管
- 8.....共鳴管
- 8c...共鳴室

本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚に2つ以上の図表があるときは必ず上下方向に並べること。
5. 図面は、方眼紙の枠外にはみ出さないようにし、定規、コンパスを用いて明確に書く。
6. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
7. 符号は1枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

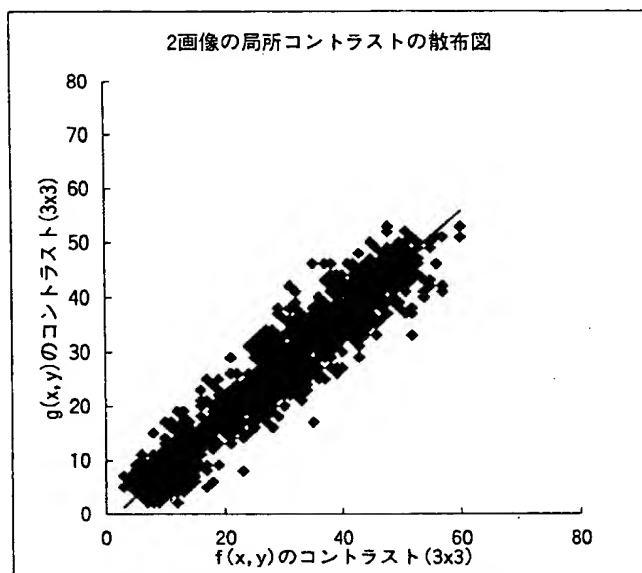
Fig. 22

Fig. 22 (b)

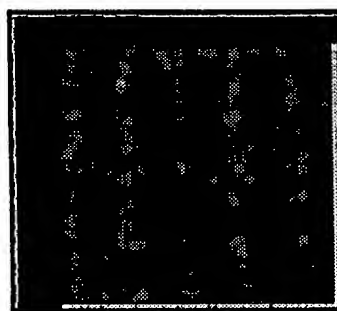
2)明るさ合わせ後

傾き	切片
0.958	-1.649

Vr= 175.852
Ve= 9.603



V_2 の値



660240" JET46260

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
 - G3フタテンミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
 - 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

表の例

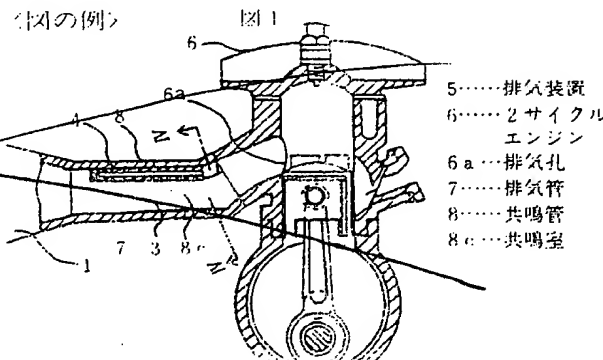
表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 5
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

数式の例

$$f(i, j) = \frac{C_{10}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (数 1)$$

図の例



本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表わす図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のよつに連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚に2つ以上の図表があるときは必ず上方向に並べること。
5. 図面は、方眼紙の枠外にはみ出さないようにし、定規、コンパスを用いて明確に書く。
6. 符号(アラビア数字)は引出線を用いて記入する。
7. 符号は枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に共通する。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

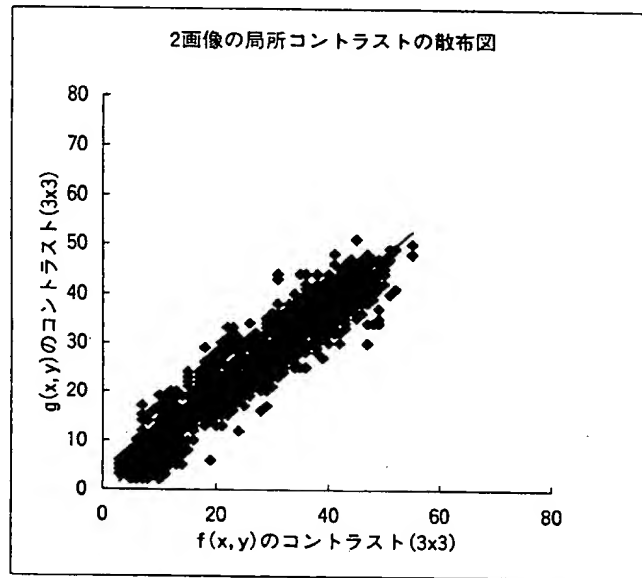
Fig. 23

~~Fig. 23 (c)~~

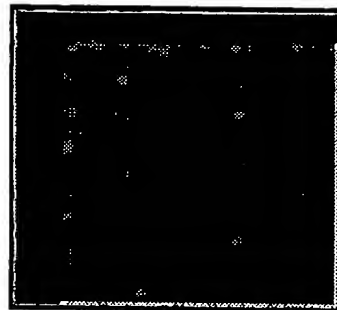
3) サブピクセルの位置あわせ後

傾き	切片
0.981	-1.454

Vr= 168.393
Ve= 8.869



Veの値



660240" 2E7H6260

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
○図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
○G37(7)ミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
○表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

〈表の例〉

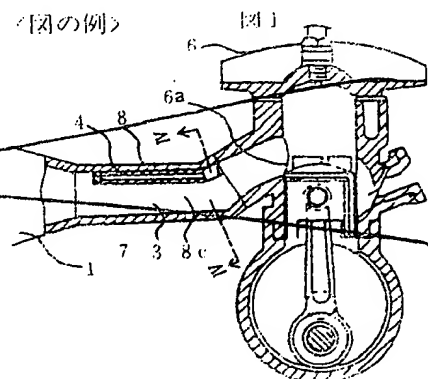
表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

〈数式の例〉

$$|i| = \sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2} \dots (\text{数 1})$$

〈図の例〉



- 5……排気装置
6……2サイクルエンジン
6a……排気孔
7……排気管
8……共鳴管
8c……共鳴室

ファイル名 - D97010911A1.ct

【図 19】

Fig. 24

図 19

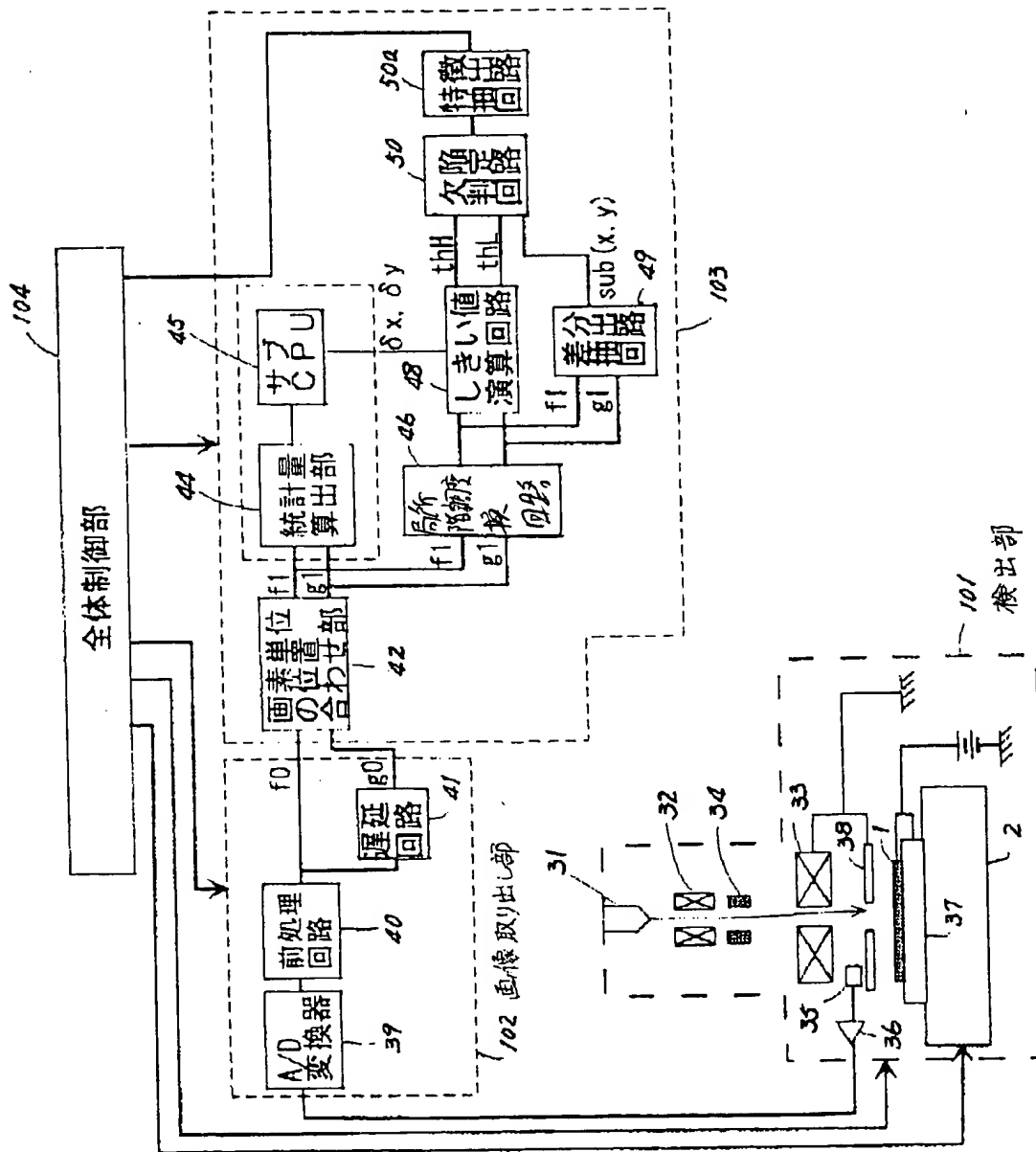


Fig. 25

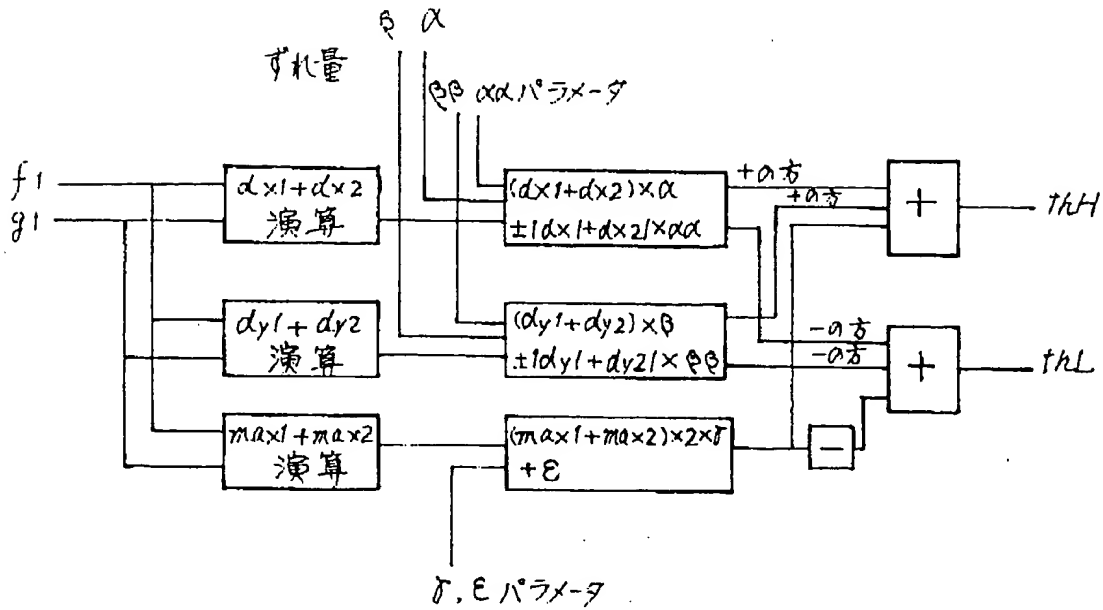
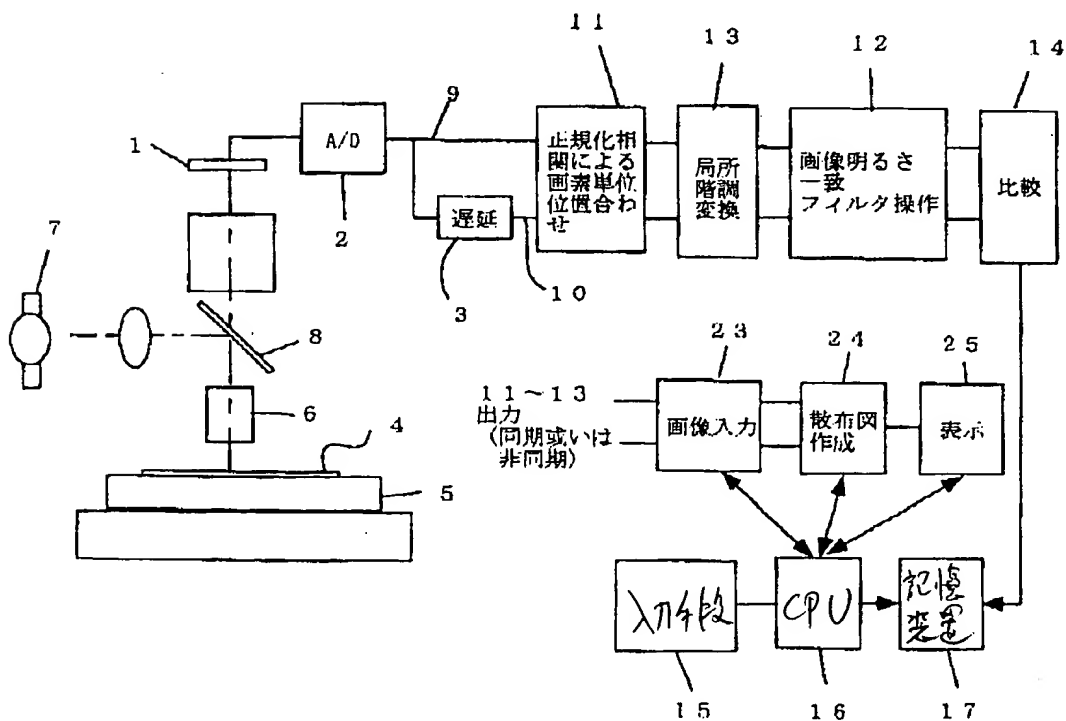


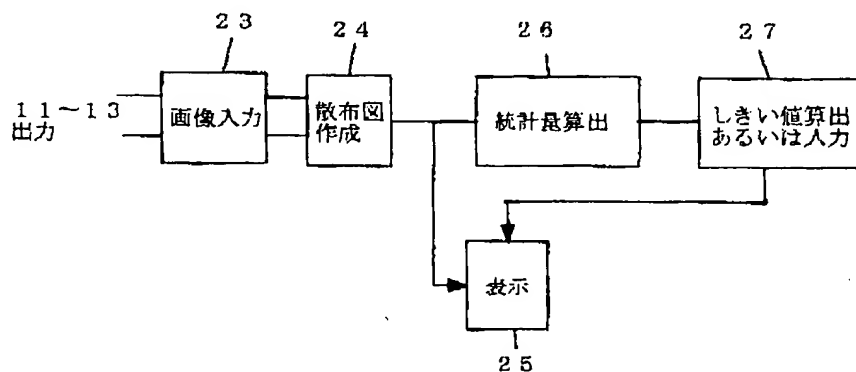
Fig. 26



ファイル名 = D97010911A1.e1

【図24】

Fig. 21
~~図24~~



660240" / E F 46260

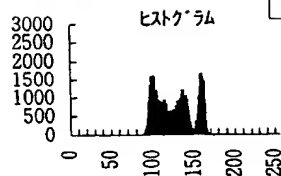
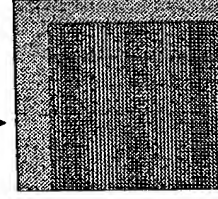
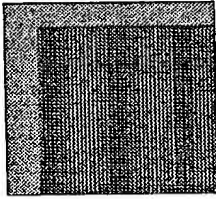
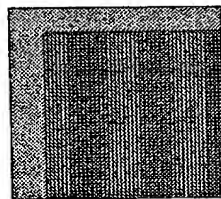
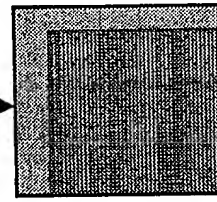
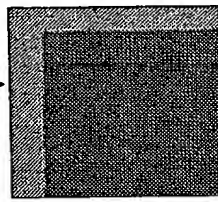
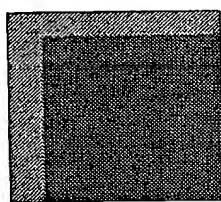
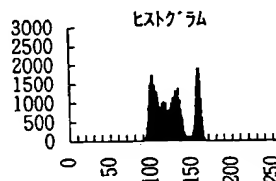
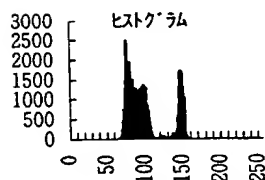
本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

Fig. 28

21 (a)

作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表わす図を「図1」とする。
2. 各図ごとに、図の上側に「図1」「図2」のように連番番号を付し、番号順に配列する。中心線に記入しない。1枚に2つ以上の図表があるときは必ず上下方向に並べること。



画像の統計量

検出位置ずれ量(1,1)	
max	66
min	0
μ	25.9
σ	10.92
コントラスト(L&S)	45
コントラスト/max	0.682
相互相関係数	0.917

ゲイン=1.319
オフセット=0.0039

max	29
min	0
μ	1.94
σ	2.35
コントラスト(L&S)	61
コントラスト/max	2.103
相互相関係数	0.991

図面は、方眼紙の外にはみ出さないようにし、定規、コンパスを用いて明確に書く。
符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。符号はのりで囲まない。また符号はできるだけ大きくする。同一部分が2つ以上あるときは、同一の符号を各図に付ける。

断面を示す部分には、ハッチングを施す。斜りつづけてはならない。

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 152mm 縦 30mm以上、200mm以下(上記余裕を含む)。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。
- 図面については、何を表わす図かを読み取り範囲内に記載する。

〈表の例〉

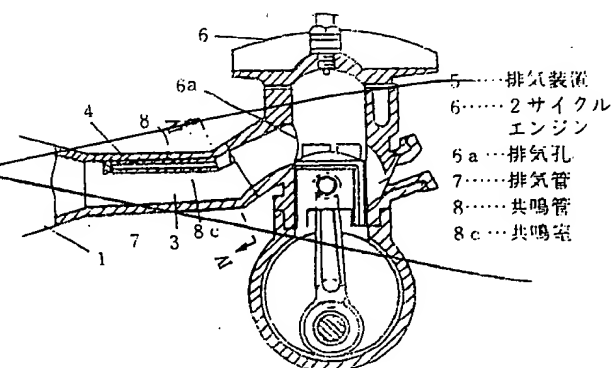
条件を表わす表(表1)

	条件1	条件2
回路1	1. 5	2. 3
回路2	1. 2	1. 9
回路3	1. 8	2. 4

〈数式の例〉

$$|i_1| = \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数1})$$

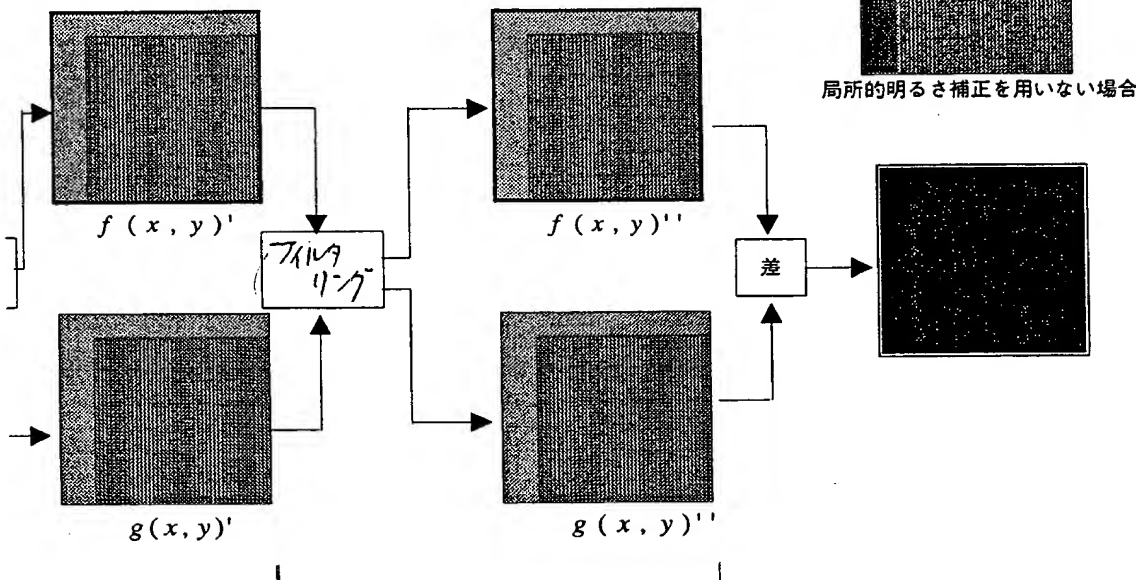
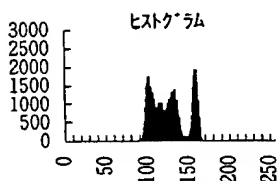
〈図の例〉 2サイクルエンジンの断面図(図1)



- 5...排気装置
- 6...2サイクルエンジン
- 6a...排気孔
- 7...排気管
- 8...共鳴管
- 8c...共鳴室

本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

Fig. 29
~~Fig. 21 (b)~~



ゲイン=1.319
オフセット=0.0039

max	29
min	0
μ	1.94
σ	2.35
コントラスト(LAS)	61
コントラスト/max	2.103
相互相関係数	0.991

$\alpha=0.036(x)$
 $\beta=0.106(y)$

max	25
min	0
μ	1.92
σ	1.87
コントラスト(LAS)	57
コントラスト/max	2.280
相互相関係数	0.993

28
(図 21(a) の続き)

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表わす図を図とする。
2. 各図ごとに、図の上部に図1、図2のような連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚に2つ以上の図があるときは必ず上下方向に並べること。
5. 図面は、方眼紙の外にはみ出さないようにし、定規、コンパスを用いて明確に書く。
6. 符号(アラビア数字)は引出線を用いて記入する。
7. 符号は図で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分は、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 152mm 縦 30mm以上、200mm以下(上記余裕を含む)。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。
- 図面については、何を表わす図かを読み取り範囲内に記載する。

<表の例>

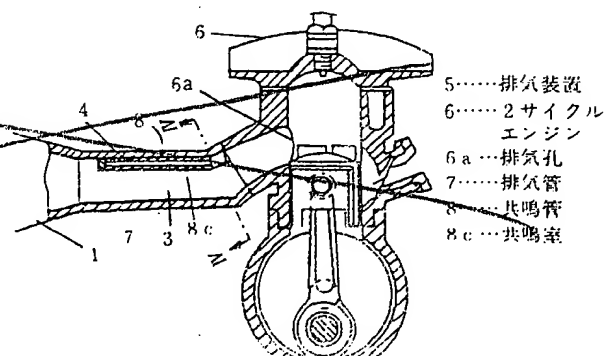
条件を表わす表(表1)

	条件1	条件2
回路1	1.5	2.3
回路2	1.2	1.9
回路3	1.8	2.1

<数式の例>

$$|r_1| = \frac{e_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (数1)$$

<図の例> 2サイクルエンジンの断面図(図1)



本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

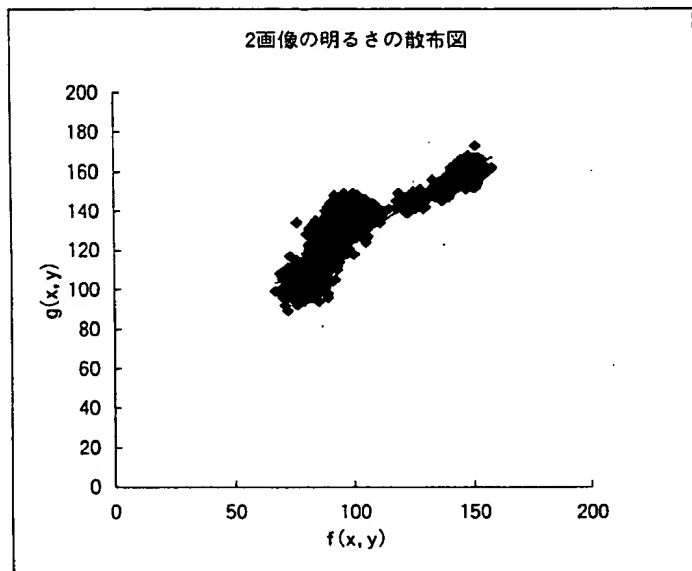
Fig. 30
17-22(a)

2枚の画像の明るさの散布と統計量 V_e

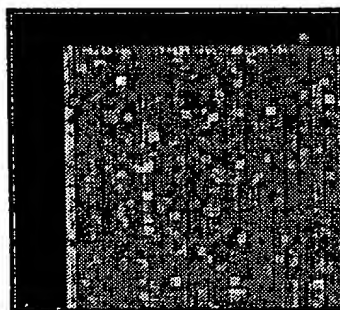
1)画素単位の位置あわせ後

傾き	切片
0.705	55.947

$V_r = 447.4806$
 $V_e = 40.02821$



V_e の値



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表わす図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚に2つ以上の図表があるときは必ず上下方向に並べること。
5. 図面は、方眼紙の枠外にはみ出さないようにし、定規コンパスを用いて明確に書く。
6. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
7. 符号は1冊で異なる、また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上の図表にある時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

〈表の例〉

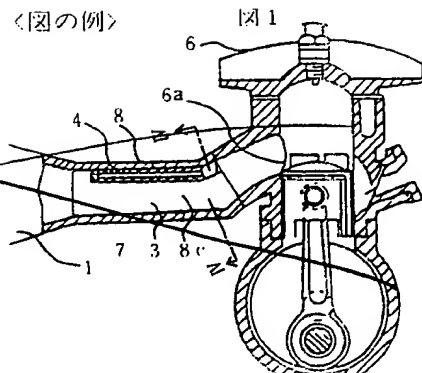
表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 1

〈数式の例〉

$$|I_1| = \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (数 1)$$

〈図の例〉



- 5……排気装置
- 6……2 サイクルエンジン
- 6a……排気孔
- 7……排気管
- 8……共鳴管
- 8c……共鳴室

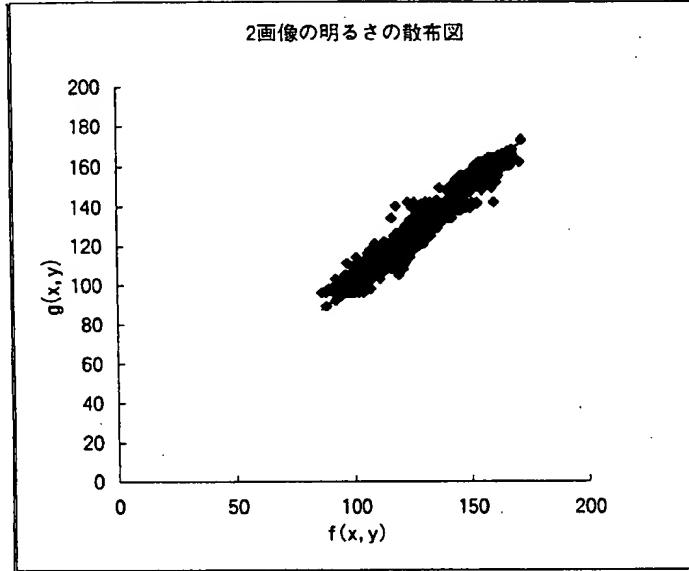
本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

Fig 31
22 (b)

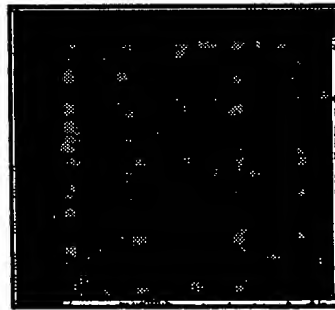
2) 明るさ合わせ後

傾き	切片
0.986	2.567

Vr= 478.921
Ve= 8.598012



Veの値



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表わす図を1図とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のよう、図番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1図2つ以上の図表があるときは必ず上下方向に並べること。
5. 図面は、方眼紙の外には記入しない。ただし、定規、コンパスを用いて円弧に書く。
6. 符号(ラビ、数字)は引出線を用いて記入する。
7. 符号は線で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上の図にあらはれる時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
- G3マクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

表の例

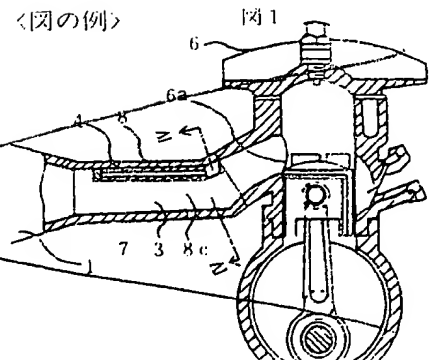
表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

数式の例

$$|i_1| = \frac{e_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数 } 1)$$

図の例



- 5.....排気装置
- 6.....2サイクルエンジン
- 6a.....排気孔
- 7.....排気管
- 8.....共通管
- 8a.....共鳴室

本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

作成上の注意

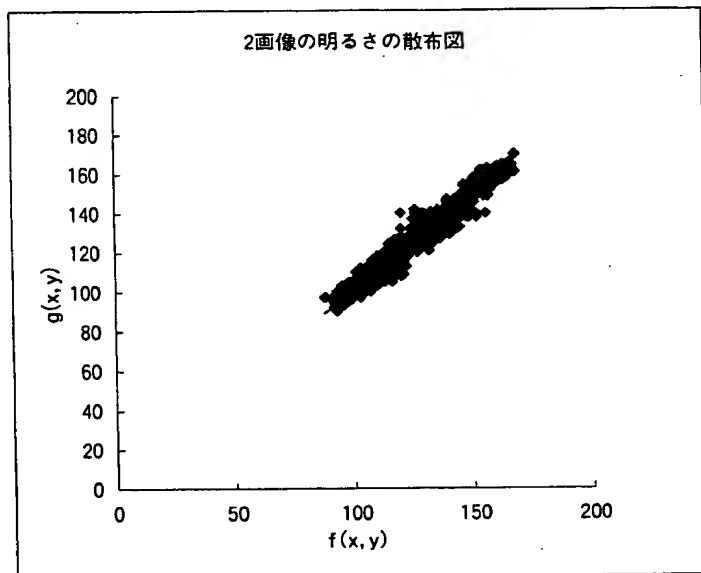
1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の左側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚に2つ以上の図があるときは必ず上・下方向に並べること。
5. 図面は、方眼紙の枠外には書かないようにし、定規、コンパスを用い、明確に書く。
6. 符号(アラビア数字)は引線をはいて記入する。
7. 符号は、作図で用いる、また番号が異なるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。斜り、そして異なる。

Fig. 32
~~Fig. 22(c)~~

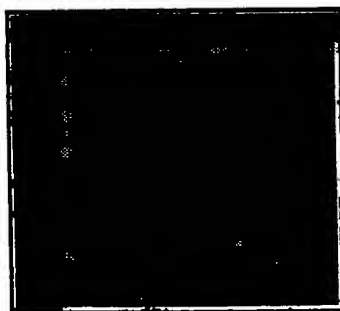
3) フィルタリング後

傾き	切片
0.991	1.568

Vr= 473.2729
Ve= 7.477604



Veの値



- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
- C3フタのミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

〈表の例〉

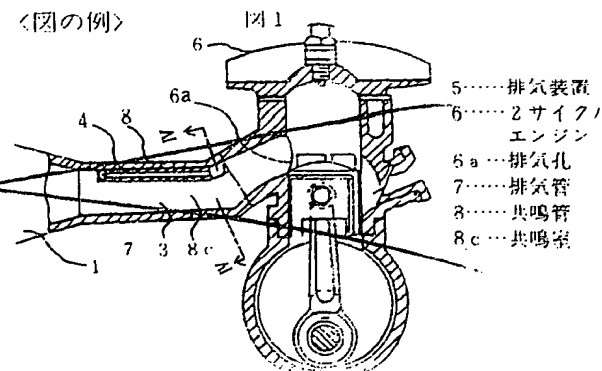
表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 3	2. 4

〈数式の例〉

$$|i| = \sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2} \dots (数 1)$$

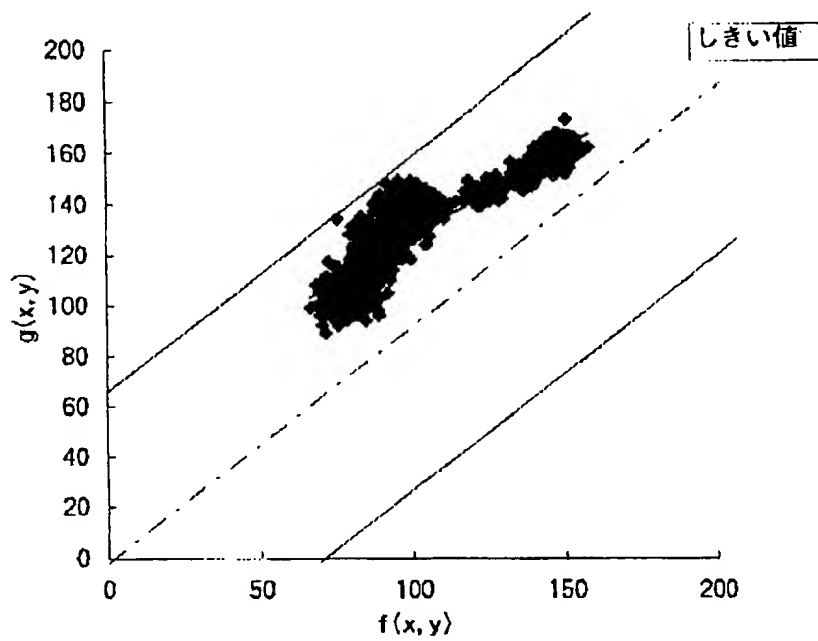
〈図の例〉



ファイル名 = D07010011A1.eI

【図34】

Fig. 33
~~図 34~~

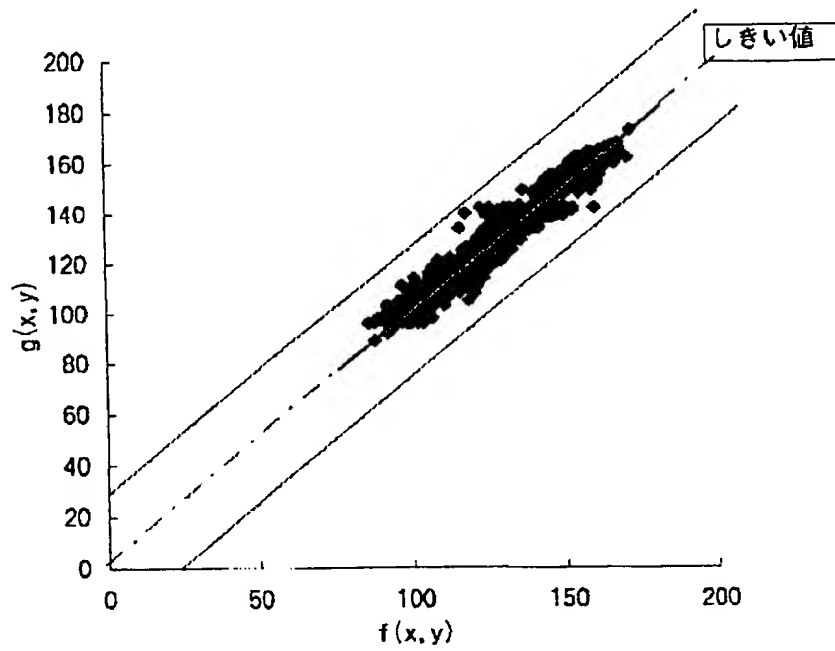


660240" ZEF46260

~~ファイル名 = D97010911A1.e1~~

~~【図35】~~

Fig. 34
~~図 35~~

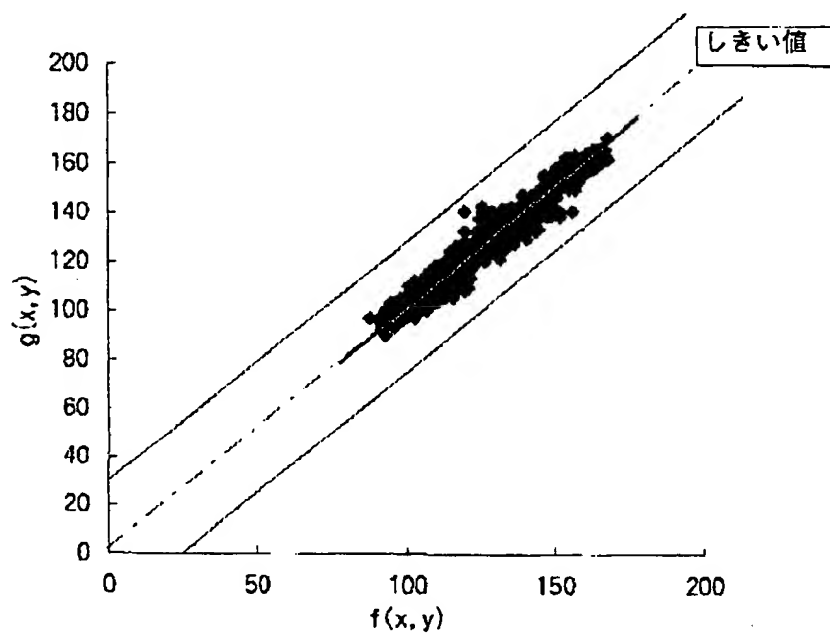


660240" 2E746260

ファイル名 = D97010911A1.e1

図36

Fig. 35
~~図36~~

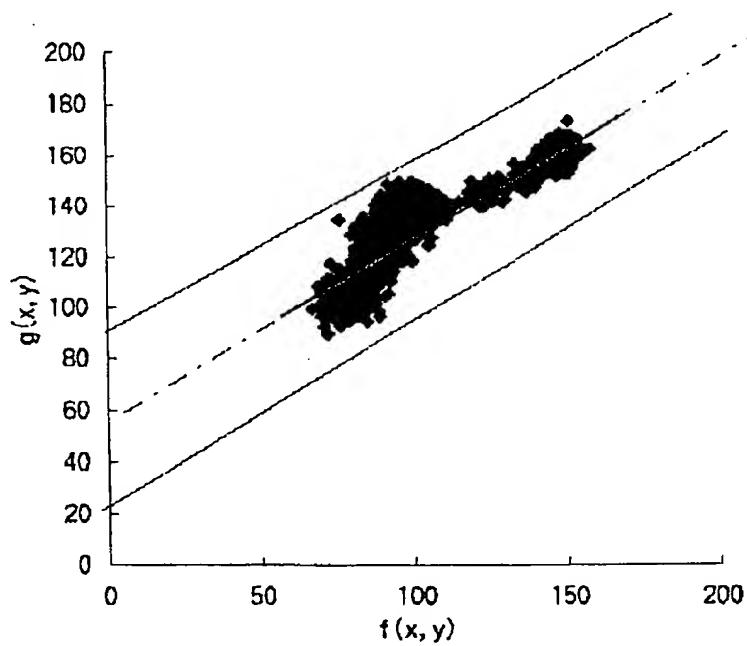


660240" ZET46260

ファイル名 = D97010911A1.e1

【図 37】

Fig. 36
~~図 37~~

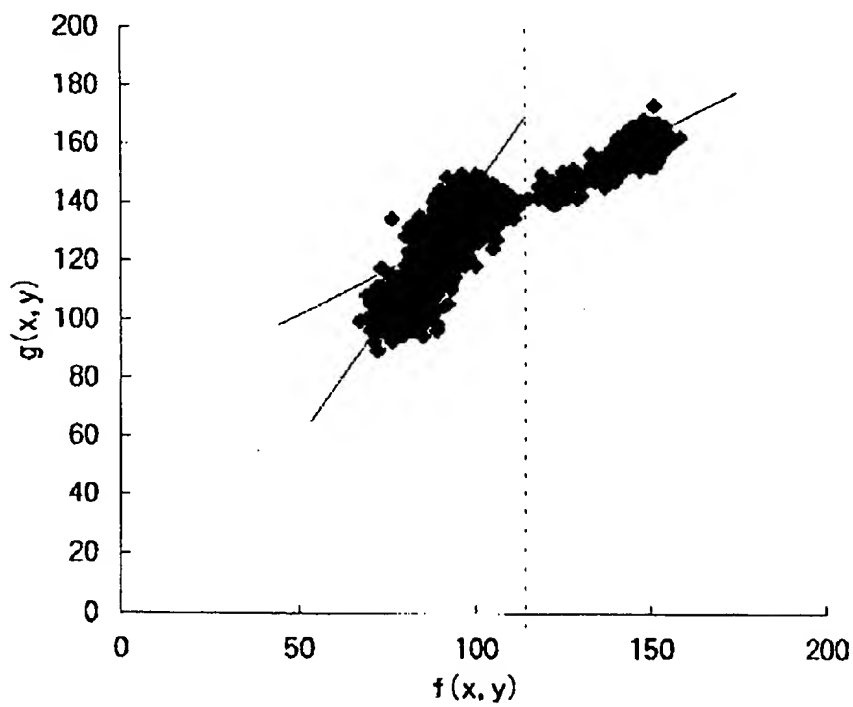


660240" ZET46260--

【図38】

Fig. 37

~~図38~~



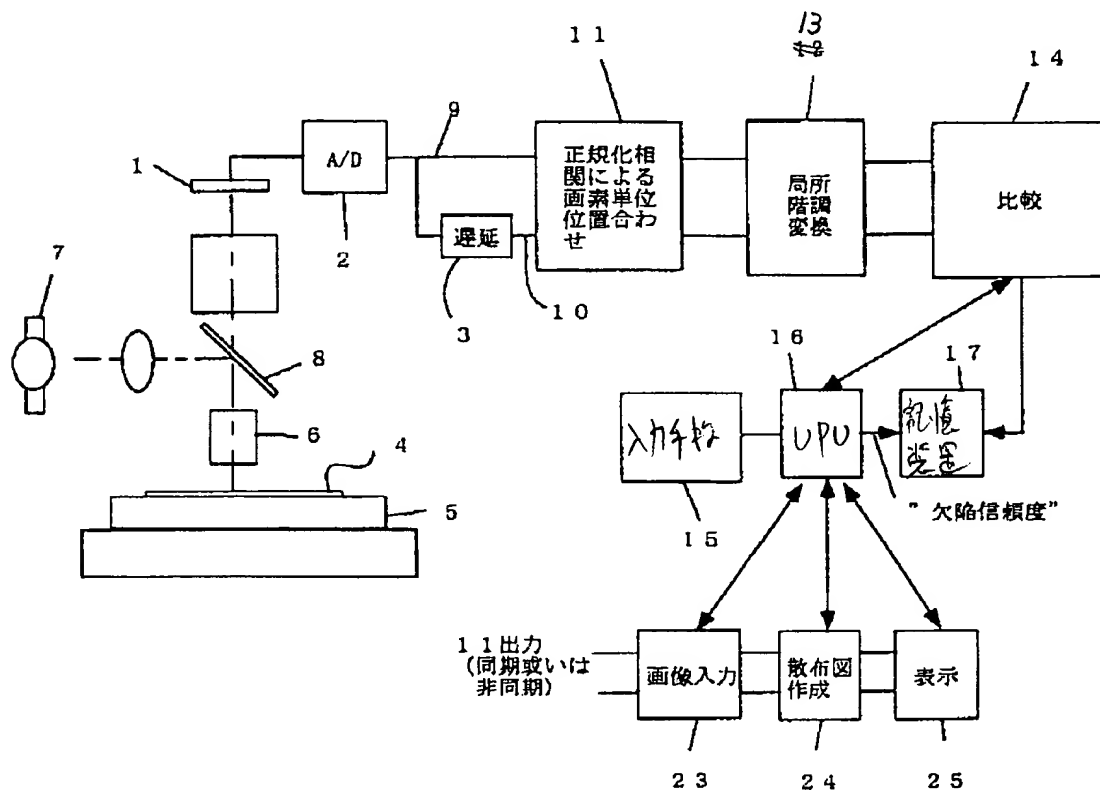
04240" 2E146260

ファイル名 D98008141A1.et

【書類名】 図面

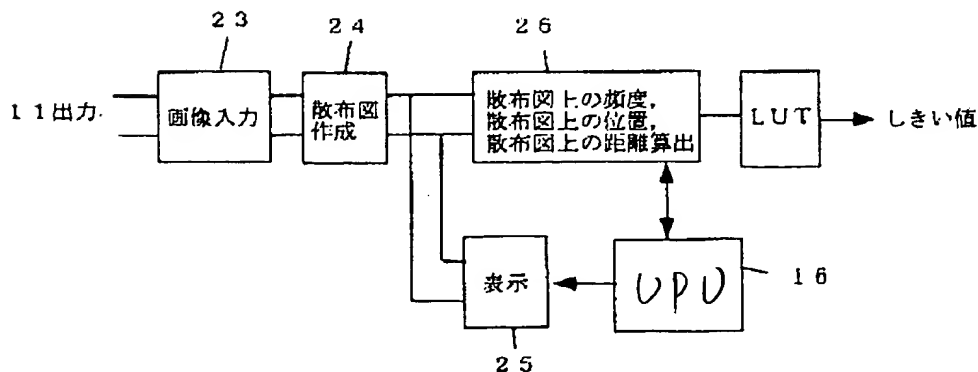
【図1】

Fig. 38
図 1



【図2】

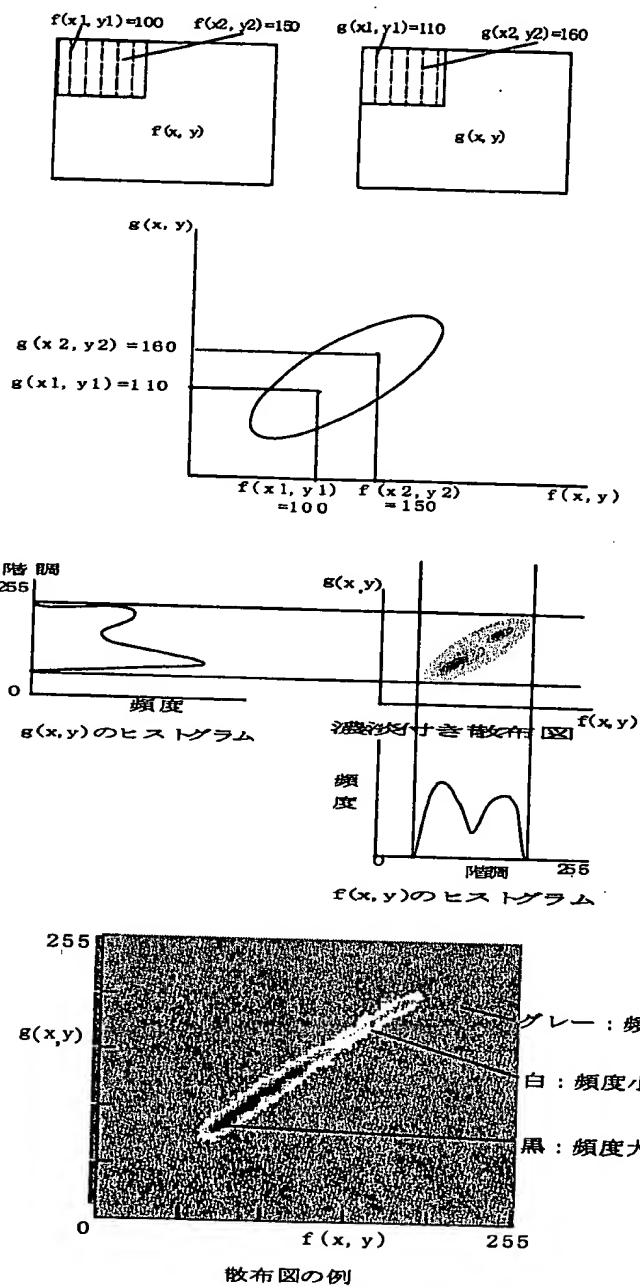
Fig. 41
図 2



本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま印刷される場合があるので、作成上の注意を併記して記載する。

Fig. 39

図39



散佈図の例

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を誤み取り範囲内に記載する。

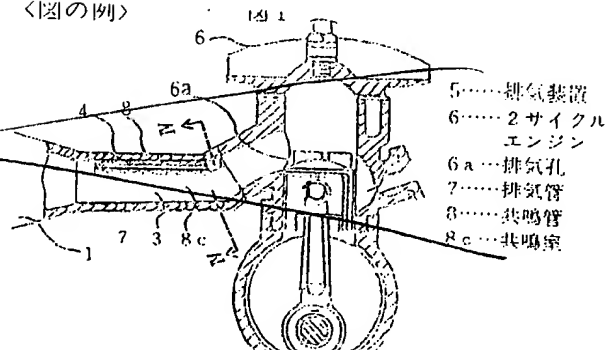
<表の例>

表 1		
	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

<数式の例>

$$|i_1| = \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数 1})$$

<図の例>



作成上の注意

1. 発明の特
最もよく
示す図を
する。

2. 各図ごと
図の上端
1. 図2:
うに連続
を付し、
順に配列

3. 中心線は
しない。

4. 1枚に2つ
の図表が
ときは必
下方向に
ること。

5. 図面は、
紙の外に
み出さな
うにし、
コンパス
いて明確
く。

6. 符号は、
ア数字の
出線と引
記入する。

7. 符号は、
間はない
た符号は
るだけ大
する。

8. 同一部分
以上の図
る時は、
の符号を
に付ける

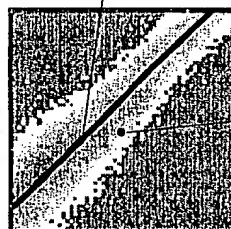
9. 図面を示
分には、
シテを施
添りつ
はならない

Fig. 40A

(a)



最小自乗法による近似直線

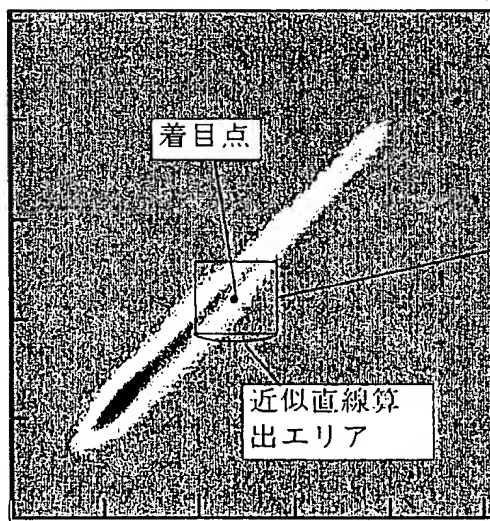


着目点

- ・ 散布図上の各着目点を中心とするエリアの近似直線を求め、そのゲインとオフセットを補正係数とする。
- ・ エリアサイズは散布図の頻度に応じて可変とする。

Fig. 40B

(b)



最小自乗法による近似直線

着目点
(座標(BxBy)頻度)距離
↓
2つの信頼度

- ・ 散布図上の各着目点を中心とするエリアの近似直線を求め、そのゲインとオフセットを補正係数とする。
- ・ エリアサイズは散布図の頻度に応じて可変とする。

作成上の注意

1. 発明の特許
最も多く
す図を1
する。2. 各図と主
図の側面
1、2の
うに連続
を付し、正
順に列す。3. 中心線は直
しない。4. 1枚に2つ以
上の図を
すは必ず
下方向に寄
ること。5. 図面は、方
紙の枠外に
み込まない
うにし、定
コンパスを
いて明確に
く。6. 符号(アラ
ブ数字)は
出題を明
記入する。7. 符号は、図
面を明
た符号は
るだけ大
する。8. 同一部分が
以上の図に
る時は、同
の符号を
は付ける。9. 断面を示す
分には、ハ
チングを施
線りつた
はならない。

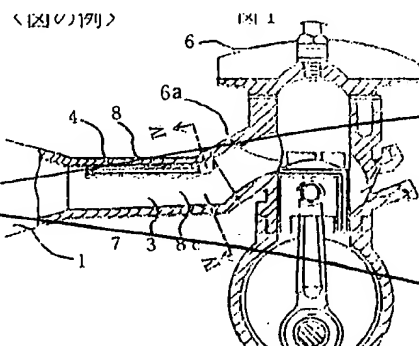
- 左端の点線は、図面に内記した部材を添付する。上に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

<表の例>

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

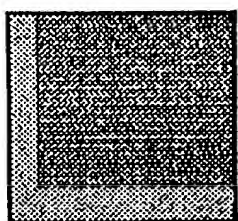
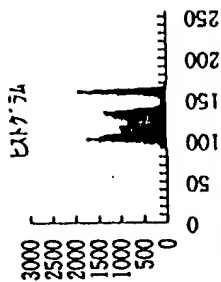
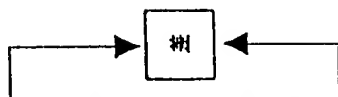
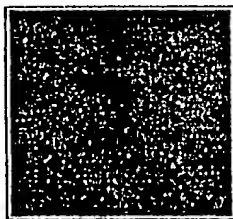
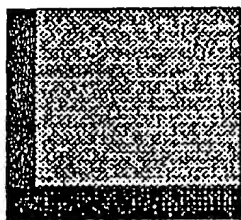
<数式の例>

$$|I_1| = \frac{e_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数 } 1)$$

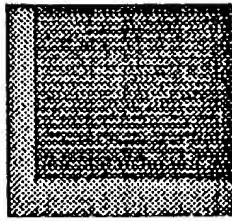


- 5.....排気装置
- 2 サイリ
- エンジン
- 6a.....排気孔
- 7.....排気管
- 8.....共振管
- 8c.....共振室

局所的明さと暗さを正さない場合

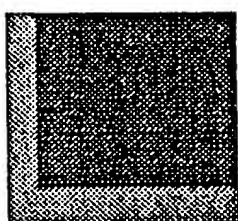


$f(x, y)$

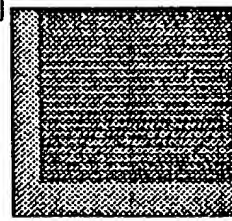


$g(x, y)$

局所的明さを正す

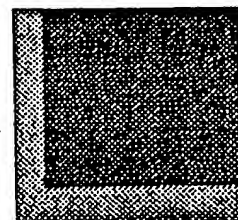


$f(x, y)$

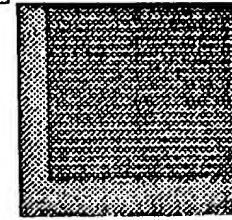


$g(x, y)$

面素単位マッピング (正規化相関)



$f(x, y)$

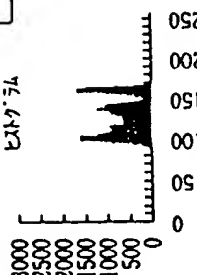


$g(x, y)$

面素単位移動

局所的明さを正す

マッピング



以上の注意

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

透明の部分を
黒色に置き換
えて図を暗く
する。

①左端の点線は図面に示した部分を黒くする。止所は透明部分を暗くする。
②図面の大きさ：横 11.8mm、縦 30mm以下、24mm以下（止所を除くを含む）。
③G3777/22mm以下（止所を除く）を、細かく書き加える。
④表11、表12、図1等の図面を、必ず、正確に描く。

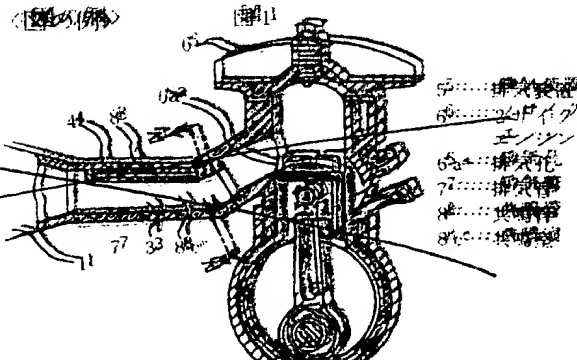
（表11の例）

表 11

	案件11	案件22
図面11	11. 55	22. 33
図面22	11. 22	11. 99
図面33	11. 88	22. 44

（表12の例）

$$\frac{11}{(11 - C_1)} \dots (表11)$$



~~ファイル名 = D98003141A1.el~~

~~【图 6】~~

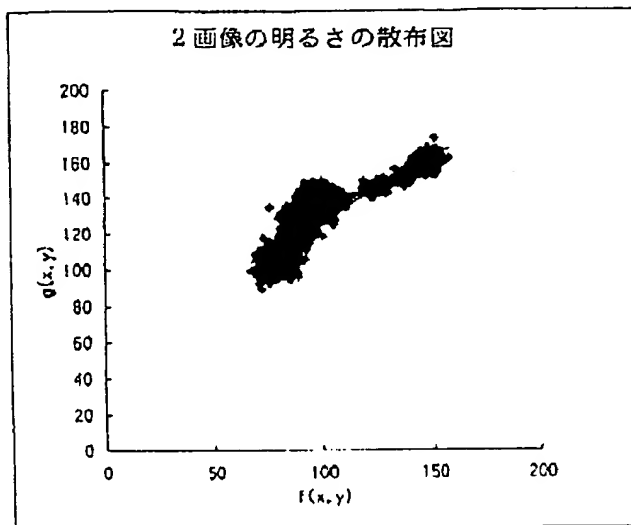
Fig. 43 A

26

1) 画素単位的位置あわせ後

傾度	切片
0.705	55.947

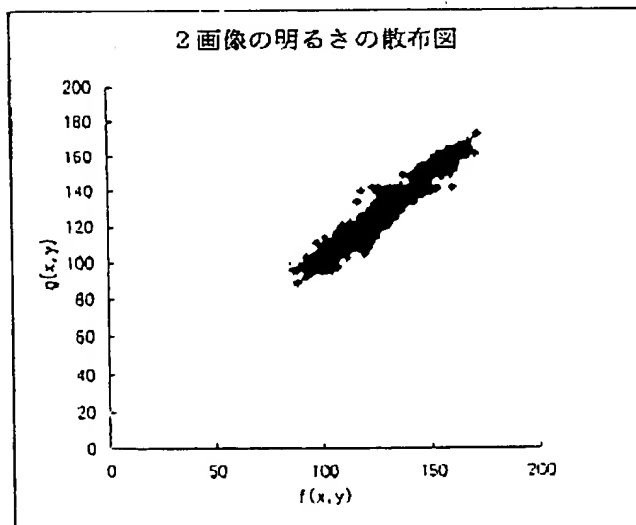
Vr= 447.4806
Ve= 40.02821



2) 明るさ会わせ後

0.986	2.567
-------	-------

Vr= 478.921
Ve= 8.598012



~~SECRET~~

Fig. 44 A

~~(a)~~

2	(120.75, 232.72)	10.2	(2.9, 4.2)	20	250
---	------------------	------	------------	----	-----

3

Fig. 44B
(a)

2	(120.75, 232.72)	10.2	(2.9, 4.2)	20	12
---	------------------	------	------------	----	----

3

Fig. 4c

2	(120.75, 232.72)	10.2	(2.9, 4.2)	20	(250, 200)
---	------------------	------	------------	----	------------

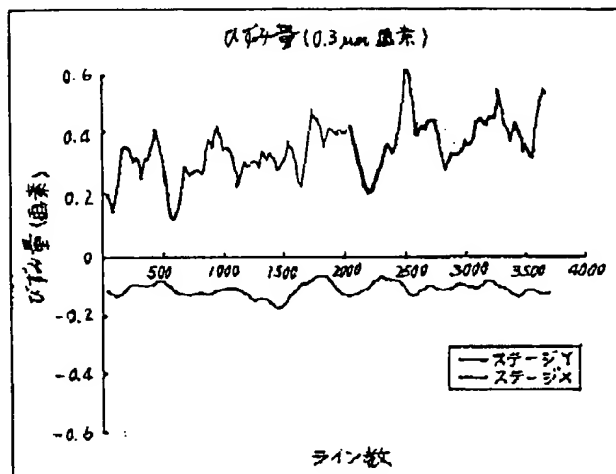
3

0950432 0420968

ファイル名 = D98003141A1.et

【図7】

Fig. 45
~~図7~~



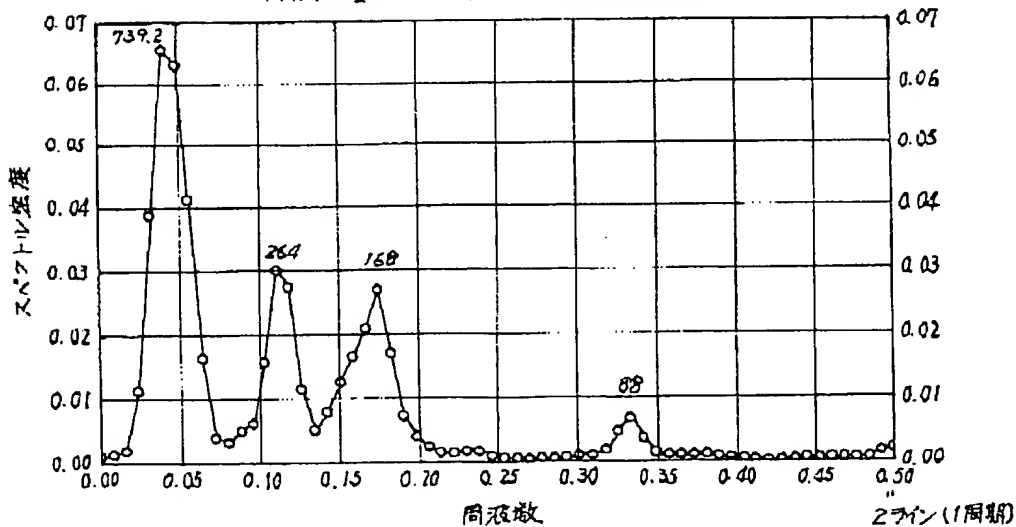
【図8】

Fig. 46
~~図8~~

スペクトル分析: VARI

ケース数: 126

ハミングの重み: 0.357, 2.411, 0.464, 2.411, 0.357



660240" 2E146260-